



北海道北見柏陽高等学校同窓会 かしわ会東京支部 2018年度会報

発行日 2018年8月25日

発行者 北海道北見柏陽高等学校同窓会 東京支部
椎名孝典 神奈川県横浜市中央区並木3-12-12

いざ全国大会へ 現役弓道部 練習風景

二〇一七年度総会・懇親会開催される

二〇一七年十月十五日 於 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

二〇一七年度の「かしわ会」東京支部総会・懇親会は前年と同じ市ヶ谷の私学会館を会場にここ数年では最多の八十名の参加者を得て開催されました。

総会は、校歌斉唱に始まり椎名支部長、来賓のかしわ会本部舛川会長、第十一期生の藤澤様の挨拶のあと、当期役員より二〇一六年度の活動・会計報告がなされ、満場一致で

承認されました。

続いて開かれた懇親会では、乾杯のあと、古賀恵美子さんの熱唱と途中から飛び入り登壇の参加者との合唱で盛り上がりしました。そのあと恒例の抽選会ではジャンケン勝者が各方面から提供されたお土産を獲得、第三応援歌、一本締めでお開き、次回の再会を約束して散会しました。

二〇一八年度東京支部総会・懇親会

開催に当たって

かしわ会東京支部長 椎名孝典

一年が過ぎるのもあっという間の感じとしておりますが、例年のとおり、二〇一八年度のかしわ会東京支部の総会・懇親会を「アルカディア市ヶ谷」を会場として開催させていただき運びとなりました。多くの同窓生の皆様とお会いできる機会となるようご案内させていただきます。

さて、今年は、何といっても平昌オリンピックでのカーリング「ロコソアーレ北見」の活躍で、全国的に「北見」の知名度が大きく上がった年でありました。

某旅行業者の北海道ツアーの、とあるコースには、北見の名所巡りも組み込まれるなど

首都圏においても「ふるさと北見」の盛り上がりを感じることが出来、喜んでいるのは私一人ではないものと思います。かしわ会東京支部におきましては、昨年度、若い同窓生の皆様にも大勢参加をいただき素晴らしい懇親会ができたものと役員一同、意を強くしております。今年度も多くの皆様に参加をいただき、故郷の北見、北見柏陽高校へ思いを馳せながら楽しい語らいの場となるよう願っております。

また、お願いでございますが、かしわ会東京支部総会・懇親会の案内が届いていない同窓生の皆様もおられるかと思えます。是非お声掛けいただき故郷北見・母校柏陽との懸け橋となればと願いつつ、ご挨拶とさせていただきます。

二〇一八年度総会 報告および承認事項

■活動報告

・総会

・懇親会

■会計報告(二〇一七年度分)

・収入計

109万360円

・支出計

87万4925円

・次期繰越金

21万5435円

■役員

支部長 椎名 孝典(18期)

副支部長 小竹 利和(20期)

若作 敏明(20期)

古賀恵美子(21期)

飯淵 武雄(18期)

会計 四十物治夫(15期)

幹事長 高島 正志(18期)

副幹事長 手塚 勝巳(18期)

角田 丈志(19期)

■懇親会実行委員

18期 佐藤 英行

19期 広瀬 雅巳

2018年度 東京支部総会の開催に寄せて

変わりゆく駅周辺部《中央図書館など》

北海道北見柏陽高等学校同窓会

かしわ会会長 舩川 誠

東京支部の皆さんと一緒に母校への想いに浸る秋の一時は、私にとって楽しみにしている恒例行事なのですが、昨年の支部総会はまだついこの前だったような...

写真は平成二十七年十二月二十三日に開館した新しい「北見市立中央図書館」です。まだ二年半しか経っておらず新品同様ビカビカです。場所は北見駅の南側、線路を挟んだ真裏にあります。

駅前側からは中央ブロードで結ばれていて凄く便利です。一階にはカフェもあり、空調も効いていて快適な施設です。

毎日グラウンドで白球ばかり追いかけていた私には無縁な場所でしたが、もしこんな図書館が私の時代にあったらもっと...。学習室なども充実していて、テストが近くなると

中・高校生が大勢通ってくるそうです。建物の真ん中にちよこつと顔を出しているのが、「パラボ」が十一年ぶりに復活させた昔のきたみ東急百貨店の屋上看板です。

私にとっては、市民会館と同じ敷地の常盤町二丁目には北見駅前の土地建物の寄贈を受けて開館したそうで、



北側と南側の違いはあっても、元の場所に戻って来たという事でしょいか。世代によつては駅前にあった建物の方が懐かしさを感じられる先輩もおられることと思います。北見駅の南側は図書館と隣にある芸術文化ホールが出来上がって静かになりましたが、駅前側は広場の工事が最近ようやく終わったと思ったら、今はバスターミナルの新築工事が始まりました。さらに三〇〇メートル程西に行くと新市庁舎建設工事が真つ盛りです。庁舎移転後はパラボ施設の改修工事も控え、まだ当分の間は落ち着かない状況です。工事で賑わうのではなく、大勢の人で賑わう北見市に戻って欲しいものです。

皆様のご健勝とご活躍、そして今年度の支部総会の御盛会をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

さらなる躍進を目指して

北海道北見柏陽高等学校校長 新山 知邦

本年三月、第六十八回卒業証書授与式が挙行され、二百三十名の生徒が本校を巣立ちました。進路状況は、国公立大学に三十六名、公務員も三十五名が合格するなど、生徒達の挑戦し続ける心が高い実績に結び付いたと感じています。また、部活動では、平成二十九年度も多くが全道大会へ出場し、特に体操部（トランポリン競技）、弓道部、空手道部は全国大会への出場を果たしました。

四月十日、第六十九回入学式が挙行され、二百四十名の新入生を迎え、平成三十年度がスタートしました。本校に赴任して一年が経過しましたが、この間、様々な方々から、本校の歴史や伝統、そして期待等を益々感じ

るとともに、学校の目指すべきところは何か、今すべきことは何かを自問自答しながら、生徒や教職員とともに歩みを進めているところです。

本校の自慢は、多くの先輩方が築いてこられたものでありますが、その中の一つである生徒達の爽やかな挨拶は、赴任した当初から大変印象深いものです。教育においては「流行と不易」について論じられることがありますが、人と人との関わりにおいて、挨拶の大切さは、いつの時代も変化しない本質的なものであります。変化の激しい現代社会において、新しいものを取り入れていきながらも、本校の良き伝統を守り、さらなる躍進を目指すよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。

結びになりますが、今後とも、かしわ会の皆様のご支援・御協力をお願いしますとともに、益々の御発展と御健勝を御祈念申し上げます。

ふるさとの人気産品あれこれ

札幌かしわ会会長 小林秀章（十八期）

東京支部の皆様お元気でしょうか？

新たに札幌かしわ会の会長を仰せつかりました十八期生、南中出身の小林秀章と申します。札幌での同窓会開催初期の頃から第十八期の幹事としてお手伝いをさせて頂いておりますが、二十年を超える期間が経過してもなお充実した同窓会活動となっており、会員の皆様に感謝申し上げます。

さて、今年二〇一八年は「北海道」と命名されてから一五〇年になるということです。積雪寒冷地でのコメ作りは不向きといわれてきましたが、道産米「きらら397」がブームになって以来、近年の全国食味ランキングでは

「ゆめびりか」、「ななつぼし」などの銘柄が上位に名を連ねるようになっております。また、カーリング「北見の銅メダルで一躍有名になった清月の「赤いサイロ」や東京の物産展で人気となった津別町のたい焼き風「クマヤキ」など、思わぬところでふるさとから元気をもらっているこの頃でもあります。

今後とも北見柏陽高校・本部・各支部の成長と発展を見守り応援しながら同窓会活動を行っていきたいと思いますので、ご指導、ご協力重ねてお願いいたします。

柏陽勤務時代の思い出

永遠に輝く北海の空！

前東 昭

柏陽十三年間勤務、緑陵二年八ヶ月間勤務。北見の十五年六ヶ月は充実した毎日でした。柏陽では覇気にとんだ先駆者的な取り組みがなされた。特に体育系では校地内公認の陸上競技場は全道唯一（公認の維持、生徒の作業も多々）で、大会記録は公認された。昭和三十七年、昭和四十三年の間に高体連全道バレー（九人制最後の大会、国体から六人制）、体操競技、陸上競技、スケート大会（二月に東陵運動公園の仮設小屋に宿泊、特設リンク作りは温暖で結氷せず、フィギュア、アイスホッケー中止。スピードスケート実施、記録なし）の当番校として活躍。道東道北で全道大会の当番校を引き受けるパワーのある高校が無く北見に柏陽ありの高い評価を得ていた。

校地内グラウンドでのスケートリンク作り、高校では例が無い。氷点下の気温で除雪散水作業は生徒の手足が凍え会話不能状態も？。体育の授業や校内スケート大会などで盛り上

がる。さらに、道内公立高校にもプールを、の要請で上屋無しプール設置。校舎裏山から生徒の手で落葉集めプールに敷きつめ凍結防止作業、しかし効果なし。冷夏の気温+水温四十度以上なら授業実施（生徒も震えた！水質維持に苦労があった）。四十四年から定着したドングリマラソンの実施。



恩師達 前列中央が前東先生

体育祭でのアクシデント、学年別クラス対抗綱引き、引き合う綱中央で伸縮、摩擦熱で煙が・・・あ！中央からキレる。生徒将棋倒し！怪我無くても良かったが？、綱は「小泉小」からの借り物。小学生が使う綱、どうなるか分りそうなもの。

鉄骨むき出しの狭隘屋内体育館を除き、全道に誇れる屋外体育施設。各種目の地区、全道、全国大会での活躍を見れば、柏陽生が如何に頑張り青春を謳歌し輝いていたかを知ることが出来る。今後、それぞれの地で一層の輝を！

トピック

剣道部創部五〇周年記念式典

北見柏陽高校剣道部黎明会事務局

坂崎繁樹（二十一期生）

剣道部は昭和四十一年に同好会として発足し、翌年の昭和四十二年に体育会部として認められました。部に昇格したものの、新参者の剣道部には稽古ができる場所が無く、辛うじて空いていた体育館のステージ上が稽古場となりました。体

育館で縦横無尽に練習しているバスケットボール部やバレーボール部を横目で見ながら、ステージからの落下に注意しながら稽古に励んでいました。



剣道部旗寄贈式

立しました。創部五〇周年を迎える平成二十八年十月

には黎明会の主催で記念式典を北見市で開催しました。母校の武道場で行われた記念品寄贈式では、黎明会が作製した剣道部旗（題字「守破離」）を初代部長から五十二代現部長へ寄贈しました。現部員と黎明会員によって武道場に掲示された部旗の下で更なる剣道部の発展を誓いました。こうした取り組みを通じてお世話になった母校の剣道部に少しばかり恩返しのできたような気がしました。

剣道部に在籍していた部員で還暦を過ぎ、黎明会活動に興味のある方はご連絡ください。

☎090-3018-1732 坂崎



同期の集い

20 期生

紅葉の奥日光と

スカイツリー、隅田川クルーズ

今回は、10月12日～14日の2泊3日、北海道、関西などの参加者を合わせ総勢16名で実施した。

初日、昼過ぎ東武浅草駅に集合、鬼怒川温泉に向け出発。日没前にホテルに到着、温泉で汗を流し宴会開始。高校卒業以来の再会という参加者もおりまずは自己紹介。45年以上の歳月は卒業写真とは中々一致しない。お酒の酔いと共に高校時代の思い出に花が咲き、宴会後も部屋に集合し夜も更けるまで盛り上がった。

2日目、朝から生憎の雨。朝食後に貸切バスで奥日光に向け出発。紅葉時期とあっているのは坂の渋滞が心配されたが雨と霧のためスムーズ。晴れていれば素晴らしい景色なのが残念。中禅寺湖に入ると霧が晴れてくる。渋滞がないので、竜頭の滝を見ることにし滝上でバスを降り下まで歩いて下る。紅葉は今が盛りで素晴らしい。北海道からの参加者にこの景色を見せられて良かった。竜頭の滝のあと華嚴の滝に向かう。最初霧でだめかもということだったがエレベーターを降りると我々を待っていたかのように霧が晴れ豪快な姿をみせてくれた。この後平成の大修理が終わった日光東照宮と輪王寺を見学、東京へ向かう。夕方ホテルに到着。入浴後再び大宴会となった。今回の旅行最後の夜はカラオケ

も付いて大盛り上がり。65歳を過ぎると1人欠け2人欠けという年代に入りこれからは毎年やろうという話が出てくる。



3日目最終日、ホテルからスカイツリーに向かう。そこで1名合流17名で見学。生憎の空模様だったが何とか下界を見ることが出来た。このあと仲見世から浅草寺にお参り、昼食後浅草から水上バスで日の出までクルーズ、船からの景色を楽しむ。下船後名残を惜しみつつ浜松町駅まで歩いた。楽しかった3日間もあっという間に過ぎ、それぞれ元気で再会を約束し解散した。

(小竹 利和)

編集後記
「おー!! 柏陽2018」をお届けします。
この夏は記録的な猛暑でしたが、同窓の皆様におかれましてはお元気にお過ごしのことと思います。
お忙しい中、原稿をお寄せくださいました方々、ありがとうございました。
角田記

16 期生

「谷・根・千 ぶらり散歩」

団塊世代真ただ中の16期生も、昨年古希を迎えた。札幌で開かれた『ナナマル同期会』には同期60余名が集合して、和気藹藹のなか夜のふけるのも忘れて旧交を温めあった。

関東在住者、恒例の遠足は5月12日(土)、最近人気上昇中の『谷・根・千』を散策した。ご存知の通り、谷は谷中、根は根津、千は千駄木を指し、特に谷中は昭和30年から40年代の町並みが続く下町情緒あふれる『ぶらり散歩』にぴったりのコースであった。



当日朝、日暮里駅に集合。まずは谷中霊園に向かい、広い霊園内を右往左往しながら渋澤栄一・伊達宗城・長谷川一夫の墓前で合掌。その後、築地塀が美しいお寺裏道を通って谷中銀座商店街へ。ここから眺める夕日が美しく「夕焼けだんだん」と名づけられた石段で記念撮影。坂ゆく人の迷惑も顧みず整列してポーズをとる貫禄(?)の面々。これはまさに70年で培われた知恵と経験の賜物か。商店街を少しだけ脇に入ると、そこはテレビで紹介されたこともあるという『指人形笑吉』。20分間で指人形が演じる10本のショートコントに大笑い。

昼食は根津神社の境内で。小山君の自家飲用用ワインにフランスや某国のワインも加わり蘊蓄を傾けながらいつもの試飲会が始まる。間隙をぬって持参の漬物・卵焼き等が振る舞われ、飲み・食べ・喋る、の三拍子が揃った賑やかな昼食タイムとなった。

照りつける午後の日差しのなか、根津神社から東京大学へ向い安田講堂・三四郎池・赤門を通り抜けて本郷三丁目駅で約8kmの行程を終えた。途中、参加人数が多くなることはあっても落後者はなく、16期生ますます元気で健脚である。

年々、参加者が増えている遠足。近年は同窓の先輩も加わるようになってきている。来年の遠足は、5月11日(土)に予定している。「来る者は拒まず。去る者は追いかける」がモットーの16期。同期にこだわらず同窓のみなさまも是非ご参加を!! (國武 悦子)